

筑波経済月報 No.119 2023.6

■ 企業探訪

物流サービスのベストソリューションを提供する

前山倉庫株式会社

■ 支店長のわがまち紹介

農業と自然環境をPRし、人を呼び込む

銚田市

■ 常陸時代の佐竹氏 -500年の軌跡を追う- (第2回)

奥州にこだわった始祖・源義光

■ 研究員レポート -筑波ふれあい倶楽部 第8期 次世代経営塾-

ワクワクする未来ビジネスを構想する

■ 健康経営のすすめ (第4回)

「健康経営」に関する認定制度について

-その3 国の認定制度-

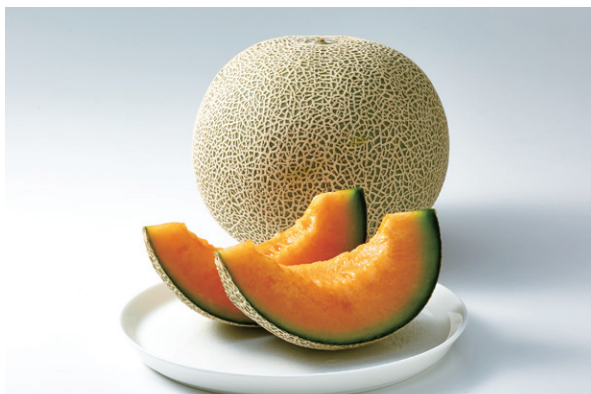
筑波総研 株式会社



銚田市のメロン



イバラキング



クインシー



アールス

(写真提供/茨城県 茨城をたべよう いばらき食と農のポータルサイト)

農林水産省の統計によると、茨城県のメロンの2021年度の出荷量は全国1位で、1998年から24年連続で日本一です。

茨城県のメロン栽培は、1962(昭和37)年、旭村(現在の銚田市)と八千代町でプリンスメロンを導入したことが始まりです。積雪や台風などの気象災害が少なく、おいしいメロンづくりに欠かせない水はけの良い土地と温暖な気候がそろっていたため一大産地化し、今では銚田市、八千代町、茨城町を中心に県内各所で多様な品種が栽培されています。なかでも銚田市は、メロンの市町村別農業産出額(2021年)で全国1位の栽培地となっています。

銚田市で栽培しているメロンの品種は、4~6月に出荷される春メロンのオトメ、アンデス、クインシー、イバラキングなど、夏から秋に出荷されるアールスと多様です。

そのうち、茨城県のオリジナル品種イバラキングは、「茨城のメロンの王様になってほしい」、そんな思いを名前に込めた品種です。開発過程では、味や香りの良い高級アールス系のメロンを父親メロンとし、10年以上の歳月をかけ、約4万個体から選び抜いた母親メロンと約400通り以上の組み合わせを行いました。こうして生まれたイバラキングは、まさに極上のメロン。上品な香りと甘さ、なめらかな口あたり、そして、きめ細かくジューシーな果肉が魅力です。日持ちが良く、おいしく食べられる期間が長いのも嬉しいポイントです。果実の肥大性が良いのも大きな特長で、通常の春メロンよりも1割以上上果実が大きくなります。

茨城の旬の味覚の代表格であるメロンを味わいに、ぜひ、銚田市へお出かけください。



《Information》
銚田市内のメロン販売店(抜粋)

- ◆ JA茨城旭村特産物直売所
サンダグリーン旭
住所 茨城県銚田市縦山602-6
電話 0291-37-4147
- ◆ JAほこた
ファーマーズマーケットなだろ
住所 茨城県銚田市飯名537-1
電話 0291-34-8888
- ◆ 鹿島灘海浜公園
(海と森の郷もぎたて市場)
住所 茨城県銚田市大竹390
電話 0291-34-1010
- ◆ さんて旬菜館
住所 茨城県銚田市上幡木1342-3
電話 0291-34-5500